

7月9日 使徒言行録 28章 23～31節 今日の説教から

説教題：「使徒たちの歩みのすべて」

さて、皆様お気づきだと思いますが、ここしばらく聖霊降臨日以降は聖書日課に従って使徒言行録を読み進めてきました。それも今日で終わり、使徒言行録の最後の場面が今日の聖書箇所であります。それでは、しばらく使徒言行録が聖書箇所になることはなさそうなので、せっかくですから使徒言行録をすべて読み解いてみましょうか。……と言っても、すべてに目を通すとそれだけで数時間、あるいは数日かかってしまいそうなので、「何が起きたのか」を中心にして読み進めたいと思います。どうぞ、本日別に配っております資料をご覧ください。使徒言行録、全28章、すべてに目を通して要約をしてきました。なかなかできることではありませんので、どうぞ聖書を読む際の資料として大事に保存しておいてください。

そもそも、使徒言行録という名前で私たちはよく知っているのですが、元々は「使徒行伝」と過去呼ばれていたように、その題名に「使徒の言葉」という意味は含まれていません。あくまでも「使徒たちが何を行ったのか」、という部分に焦点が当たっている書物であり、特に強調されているのは、ペトロやパウロによってはじめられた「キリスト復活によって教えられる異邦人への宣教」に焦点が当てられています。だからこそ、私たちはいま使徒たちの行いに目を向けて、使徒言行録を読み進めてみましょう。

全てを説教の中で伝えることは出来ませんから、どうぞ時間のある時に、少しずつでもいいので読み進めてみてください。そこにはいくつもの発見があることでしょう。そして読み終わったその時、今日のこの箇所へとたどり着くのです。もちろん、弟子たちの説教の歩みはここで終わったわけではありません。パウロはこのあとも多くの手紙を書いて、ここまで宣教を行ったそれぞれの教会を案じて、多くのことを教えていきました。その様子はそれぞれの手紙の中から、また聖書ではない資料の中からもうかがうことができます。他の弟子たちも宣教活動や福音書の執筆を行い、最終的には福音書の著者ヨハネ以外の12弟子はそれぞれ殉教という最期を遂げたとされています。そして何よりも、彼らが語った言葉と、彼らが伝えた言葉によって信仰に入ったユダヤ人たち、ギリシャ人やローマ人をはじめとした異邦人たちによって、初代の教会が作り上げられて、イエス様の福音は各地へと広がるようになりました。その、始まりの物語が、今日私たちが読んだ使徒言行録であります。

私たちは普段一つの聖書箇所から神様の言葉の深さを実感しています。語られるそれぞれの言葉に、一つ一つの行いにイエス様の愛と、神様から送られる聖霊の力強さを感じることが出来ています。しかし、それだけではなく、今一つの書物として使徒言行録すべてを見渡した時、私たちは「神様の計画」という、より大きなものを見ることが出来るのです。

今、私たちはとても難しい時代を生きています。それは戦争や紛争を経験する時代であり、病による災いを経験した時代であり、孤独や生き方の問題を直視させられる時代であります。この難しい時代に生きるからこそ、私たちは「神様の計画の中に生きている」ことに大きな慰めと、希望を感じることが出来るのです。私たちと共に神様が生きてくれている、私たちは決して孤独などではなく、どんな時でもそばにいて力が注がれている。その事を知るからこそ、この時代の中で明日へと一歩踏み出す力が与えられるのです。その心強さを胸に、今週一週間の歩みを、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：使徒言行録 28 章 23～31 節

- ・ 23:そこで、ユダヤ人たちは日を決めて、大勢でパウロの宿舎にやって来た。パウロは、朝から晩まで説明を続けた。神の国について力強く証しし、モーセの律法や預言者の書を引用して、イエスについて説得しようとしたのである。ある者はパウロの言うことを受け入れたが、他の者は信じようとはしなかった。彼らが互いに意見が一致しないまま、立ち去ろうとしたとき、パウロはひと言次のように言った。「聖霊は、預言者イザヤを通して、実に正しくあなたがたの先祖に、語られました。『この民のところへ行って言え。あなたたちは聞くには聞くが、決して理解せず、／見るには見るが、決して認めない。この民の心は鈍り、／耳は遠くなり、／目は閉じてしまった。こうして、彼らは目で見ることなく、／耳で聞くことなく、／心で理解せず、立ち帰らない。わたしは彼らをいやさない。』だから、このことを知っていただきたい。この神の救いは異邦人に向けられました。彼らこそ、これに聞き従うのです。」パウロがこのようなことを語ったところ、ユダヤ人たちは大いに論じ合いながら帰って行った。†パウロは、自費で借りた家に丸二年間住んで、訪問する者はだれかれとなく歓迎し、全く自由に何の妨げもなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストについて教え続けた。